

## ターミナル施設の収支積算に係る前提条件

## 1 前提条件

## (1) 開館日数

320日(週1日休館。ただし、クルーズ寄港時は除く。)

DBSフェリー 毎週 金・土 100日

クルーズ客船 50日

その他 170日

※閉館日は、45日で試算

## (2) 開館時間

一般利用部分 9:00~18:00 (CIQエリアは、出入国の手続があるときのみ使用)

オフィス部分 8:00~22:00

## (3) 利用人数等(年間)

	ターミナル施設利用者数	乗船客数	
		ターミナル施設(50回)	その他岸壁(10回)
DBSフェリー	28,400人	14,200人	—
クルーズ客船	64,900人	64,900人	13,000人
クルーズ見学者	10,000人	—	—
入居人員	40人×240日=9,600人	—	—
一般来場者	100人×320日=32,000人	—	—
合計	144,900人	79,100人	13,000人
ターミナル施設使用料	—	39,550千円	0

※その他岸壁への寄港では、ターミナル施設使用料は対象外。

## 2 参考

DBSフェリー(H30年実績)

284人×100日=28,400人

クルーズ見学者(H29年度実績)

10,000人

クルーズ客船(H29年度実績)

(人)

	入港隻数	1隻当り乗客	年間乗客数
12万t以上	5	4,200	21,000
8万t~12万t	7	2,800	19,600
2万t~8万t	22	1,000	22,000
6千t~2万t	7	200	1,400
6千t未満	9	100	900
	50		64,900

※一隻当たり平均:約1,300人

入居人員

(人)

DBS	5
OAフロア	10
管理室	5
CIQ	20
計	40

一般来場者

一日 100人

## 【ターミナル施設利用料と客船受入経費の関係】

ターミナル施設利用料と客船受入経費は、連動しており、収支のバランスがとれるものと見込んでいる。

収支積算参考資料では、クルーズ客船の寄港は、境夢みなとターミナル50回、その他岸壁10回の想定で積算。

## 〔収支イメージ〕

